

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2020 年 12 月 31 日作成 第 2 版

研究課題名	CT-based navigation 併用寛骨臼回転骨切り術の精度に関する後ろ向き前向き単施設観察研究
研究の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当院で 2011 年 4 月 1 日から 2021 年 9 月 30 日までに横浜市立大学附属病院で寛骨臼形成不全に対して寛骨臼回転骨切り術を行ったかた。 ・ 手術時年齢が 20 歳以上の女性のかた。
研究目的 ・ 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寛骨臼回転骨切り術を行った後の股関節の形状を評価する目的です。 ・ 通常の診療過程において撮影された、骨盤、大腿骨を含む単純レントゲン画像、CT 画像、およびカルテ情報を用います。追加の検査等は不要です。 ・ CT 画像を 3 次元的に計測、分析することで、どの程度股関節の形状が改善されたかを評価します。
研究期間	西暦 2020 年 4 月 3 日 ～ 西暦 2022 年 9 月 30 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	<p>診療録より以下の情報を収集します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者基本情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、既往歴（特に、乳児期の先天性股関節脱臼治療歴の有無）、家族歴（発育性寛骨臼形成不全症やその他の股関節疾患） 2) 術前および術後入院中の血液検査データ（血算、好中球分画、血沈、CRP、AST、ALT、BUN、クレアチニン） 3) 治療内容（手術日、術前後の理学所見、手術記録） 4) 術前後の画像データ（単純レントゲン、CT） 5) 有害事象（特に手術後の感染について） 6) 観察期間中の経過（JOA[日本整形外科学会股関節スコア]、HHS[ハリスヒップスコア]など主に医師の診察所見や患者の日常生活動作から算出される臨床スコアの記録、画像上の関節症性変化の進行度、人工股関節全置換術など再手術の有無）
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 整形外科 （研究責任者）大庭 真俊

電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-781-7922